

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016.3.4.

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	ペルシア語・教授
氏名 Name	藤元 優子
専門分野 Academic Field	イラン現代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	イラン現代文学と女性に関する研究
<p>1. イラン女性作家の草分けとして 1950 年代から約 60 年にわたって活躍したスィーミン・ダーネシュヴァル (1921-2012) の短編小説「楽屋」(1961) の両義性についての論文をペルシア語専攻の紀要『イラン研究』第 12 号 (2016 年 3 月) に投稿し、査読を経て受理された。</p> <p>2. 上記の「楽屋」の翻訳紹介を、『中東現代文学選 2015』(中東現代文学研究会・編、近刊) に発表した。</p> <p>3. 8 月下旬に約 2 週間、科研基盤研究 (B) 「現代中東における「ワタン (祖国)」的心性をめぐる表象文化の発展的研究」(研究代表者: 岡真理) の研究の一環としてイランに出張し、資料収集と研究打合せを行った。女性作家ファリーバー・ヴァフィー、シーヴァー・アラストゥイー、ファルホンデ・アーガーイー、およびレイラー・リヤーヒーの 4 名、女性編集者シャハラー・シェルキヤト、モジュデ・ダギーギーの 2 名に面会して情報収集を行ったほか、イラン現代文学研究者ハサン・ミーラーベディーニーにも会い、現代文学研究に関する意見交換を行った。</p> <p>4. 上記のイラン出張では、外国人向けペルシア語教育機関であるテヘラン大学付属デホダー研究所を訪れ、所長以下数名の教員とも面会して、今後の教育研究の協力のあり方について懇談した。</p> <p>5. 今年度の科研申請では、「第二言語としてのペルシア語の総合的研究」と題した言語教育分野の共同研究プロジェクトの立ち上げを企画した。</p>	